

～財政融資資金ってなあに?～

財務部理財課

「財政投融資」というと何やら難しい経済用語と思われるかもしれません。が、政府が行う投融資活動のこと

を意味し、毎年度作成される「財政投融資計画」に基づいて実施されます。その資金は、「財政融資資金」「産業投資資金」「政府保証資金」の3つに分けられます。

今回は、私たちの生活に一番身近な「財政融資資金」について紹介します。

すぐ目の前にある
「財政融資資金」

財政融資資金は、簡単にいえば、国が地方公共団体等に融資する資金のことで、様々なものに形を変え、あなたの身近なところにあります。あなたの町にある学校や病院、衛生的な生活に欠かせないごみ処理施設や下水処理場施設、地域の産業に重要な漁港や農産品加工施設、そしてあなたが歩いている道も、この「財

政融資資金」でできているかもしれません。

政融資資金でできているか

もしかません。

建設する場合、その建設費用を村の1年分の予算だけで賄おうとする、その年の福祉や行政サービスを大きく切り詰めなければならず、住民は困ってしまいます。学校を建設すれば、数十年にわたって子供たちの教育に役立てられるので、長期・低利の財政融資資金を活用すれば、安全な学校を建設するのに十分な資金を調達できるだけでなく、毎年ほぼ一定額を、長期間にわたり返済することで、世代間における負担の公平も図られるのです。

合、財政融資資金を起業資金に充てて事業を始めることで、収入を拡大し、雇用を生み出し、地域の活性化につながります。これは、会社が事業を拡大しようとするケースと似ていますので、経営の将来計画が甘いと、逆に新たな借金を生み出す結果にもなります。

今般、地方分権の一層の推進が議論されていますが、財政が極度に悪化すると、地方自治体としての自由度が極端に制限されることもあります。地方分権社会に対応するためにも、財政融資資金を有効に活用する高い経営能力が必要になるといえます。

で、これまで全額預託されていた郵便貯金や年金積立金は、金融市場で自主運用ができるようになりました。ここでいう金融市場とは、国民経済における金融的な資金の流れ全体の意味であり、国債等による資金も含まれます。この改革を通じて、全国の財政投融資計画の残高は、平成12年度末の約418兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約87兆円）から、平成18年度末の約276兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約90兆円）まで減少しており、大幅にリム化しました。こうした中、地方向けの資金はまだまだ需要が大きく、限られた財政融資資金をより効率的に活用するためにも、重要性が高い事業分野を見極め、そこに重点的に資金を配分する、いわゆる「選択と集中」が課題になっています。

財政融資資金は、平成12年度まで「資金運用部資金」と呼ばれ、郵便貯金、年金積立金などの公的資金が全て資金運用部に預託され、管理運用されています。

平成13年度からの制度改革で、これまで全額預託されていた郵便貯金や年金積立金は、金融市場で自主運用ができるようになりました。ここでいう金融市場とは、国民経済における金融的な資金の流れ全体の意味であり、国債等による資金も含まれます。この改革を通じて、全国の財政投融資計画の残高は、平成12年度末の約418兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約87兆円）から、平成18年度末の約276兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約90兆円）まで減少しており、大幅にリム化しました。こうした中、地方向けの資金はまだまだ需要が大きく、限られた財政融資資金をより効率的に活用するためにも、重要性が高い事業分野を見極め、そこに重点的に資金を配分する、いわゆる「選択と集中」が課題になつ

ています。

で、これまで全額預託されていた郵便貯金や年金積立金は、金融市場で自主運用ができるようになりました。ここでいう金融市場とは、国民経済における金融的な資金の流れ全体の意味であり、国債等による資金も含まれます。この改革を通じて、全国の財政投融資計画の残高は、平成12年度末の約418兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約87兆円）から、平成18年度末の約276兆円（うち地方公共団体向け融資残高は約90兆円）まで減少しており、大幅にリム化しました。こうした中、地方向けの資金はまだまだ需要が大きく、限られた財政融資資金をより効率的に活用するためにも、重要性が高い事業分野を見極め、そこに重点的に資金を配分する、いわゆる「選択と集中」が課題になつ



nakayukui

沖縄ではどう活用されているの？

図表を参照して頂くと分かりますが、沖縄総合事務局において地方公共団体に貸付している財政融資資金は、最近

5年間の推移で見ても漸増傾向にあります。

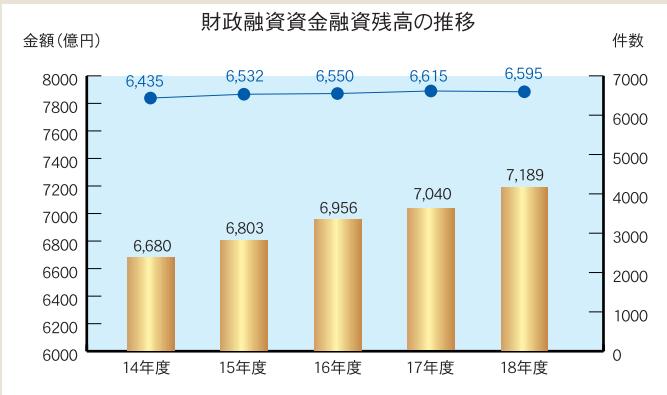
身近な活用例として、南風原町の沖縄県立南部医療センター・

こども医療センターと沖縄市の室川団地の写真を掲載しました。その他にも、南風原町の「那覇・南風原環境衛生セ

ンター（クリーンセンター）」や、那覇市の「那覇市文化でんぶす館」などがあり、財政融資資金は、県民生活の向上や、沖縄観光の発展のために、大いに役立てられています。

沖縄は復帰してから今年で36年になりますが、社会资本

の整備や更新、長寿県にふさわしい福祉・医療の充実、島嶼地域の生活苦（島ちやび）の緩和等、行政へのニーズは依然大きい中、今後も財政融資資金の重点的・効率的な活用が重要となっています。



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（南風原町）



室川市営住宅（沖縄市）

